

2 0 2 6 年 度

世 界 史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
記号で答えられるものは記号で記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～14ページに記載されています。
問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。
5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 中国を中心とした東アジアの家父長制について述べた次の文章を読んで、文中の空欄 A ～ O にあてはまる最も適切な語句を記入し、下線部(1)～(5)に対応する問1～5に答えなさい。

近代に入ってから君主を持たない政治形態である A 制や国民主権の政体(1)が本格的に登場する前は、ほとんどの国家では君主が王位を世襲する政治体制が採られていた。そして国家のあり方は世襲王朝をもつ社会の家族のあり方と相互に密接な関係をもっていた。

家族のあり方には、血統観念との関係から父系や母系、双系など様々なパターンがある。このうち中国では古代の殷の時代に父系制に基づく王位継承が行われていたといわれる。父系制とは家系が父方の系統で相続される制度や慣習を指し、殷に続く B 王朝の時代には直系の父子間での王位継承が確立した。また、この時代には支配層である諸侯のあいだでは父系親族集団 C の規範を定めた宗法が成立するにいたった。

古代中国において男女の性別役割分業を示すものとしてしばしば用いられたのが、「男耕女織」、すなわち男が耕作し、女が機を織る、という言葉である。さらに前漢の時代に D が儒学の理論によって皇帝支配の正統化を図ると、「男耕女織」は儒学の思想と結び付き、性別役割分業の理想的な姿とみなされるようになった。

しかし、中国の歴史を通して一貫して「男耕女織」の性別役割分業が理想とされたわけではなかった。魏晉南北朝から隋・唐の時代の中国は E 貴族が力を持ったが、高い家格の女性たちは実家の力を背景に積極的な社会的活動を行っており、騎馬甲冑を身につけて弓矢に巧みな宮廷女性には称賛を受けた者も少なくなかった。後の時代のような離婚や再婚のタブーもなかったといわれる。とりわけ北朝では母系の影響力が強く、女性の権力者がしばしばあらわれた。鮮卑の拓跋氏が建てた F の献文帝、孝文帝の時代に実権を握った馮太后は、均田制をはじめなど華北統治の基礎を築いた。

中国史上唯一の女帝となった G が登場した背景には、こうした北朝の女性(3)権力者たちの歴史があった。 G は H により実力ある官僚を登用

し、政治の担い手が 貴族から 官僚へと移るきっかけをつくった。多くの女性貴族が政治に参加し、 の死後も娘の太平公主が実権を握った。だが、のちの中国社会で女性が政治に参画することが忌避されるにしたがい、 は「悪女」の代表とされるようになった。

父系制や性別役割分業の考え方が中国の社会に広く浸透しはじめたのは、宋の時代である。この時代には 貴族に代わり、新興地主層を基盤にした 官僚たちが政治を担った。この人びとは と呼ばれ、かれらの倫理は新しい儒学、すなわち (宋学)を基盤としていた。 は三綱五倫などの人間関係の秩序を重んじ、その拡大にともない儒教規範も広く浸透した。そもそも を受験できるのは男性に限られた。

また、宋の時代には を中心に の形成も進んだ。これは の時代の宗法をモデルにしたものであったが、同時に、 官僚を輩出し続けるためには小家族よりも広い一族のつながりが重視されたためでもあった。

の影響力はモンゴル帝国の支配をもくぐり抜けて、明・清の時代にも続いた。明の時代には身分制はほとんど崩壊しており、競争の激しい社会が生まれた。このため の重要性はさらに高まった。 のなかの女性たちは家事・育児を担う一方で引き続き紡績にはげみ家計を支えたが、商品経済の発達とともに紡績の仕事は女性の手から離れてゆき、その地位の低下を招くこととなった。

中国の隣国である朝鮮でも の影響は強まった。14世紀末に 王朝に代わった李氏朝鮮王朝の政治理念の基盤は であった。朝鮮では中国とは異なり財産の男女均分相続や妻の実家で暮らす婚姻形態が広く行われていたが、 の拡大のもとでこうした慣行は改められていった。とりわけ16世紀末の「倭乱」、すなわち の役の戦後復興の過程では父系親族集団を中心に支配体制が再編されたために社会に広く儒教文化が定着することになり、男子に限った相続へと厳格化され、庶子への差別も厳しくなった。

19世紀にアジアへの欧米列強の進出がはじまると、こうした伝統的なジェンダー秩序は動揺した。西欧文明と比べて「遅れた社会」の象徴とみなされたり、逆に抵抗

のための「民族の伝統」ととらえられたりした。洪秀全に率いられて清末最大の反乱を起こした は、キリスト教の影響のもとで儒教的な性別役割の否定や纏足の禁止、一夫一婦制などを掲げたが、次第に指導者たちは多くの妻をもって一夫一婦制を否定することとなった。

清王朝内部でも、19世紀末に国政改革が始まると纏足の禁止や女子教育の必要性が提起された。⁽⁴⁾ この改革の時代の代表的知識人である康有為や は、富国強兵のために女性も生産労働に従事することを説き、女性に知識と体力をつけるための学校も建設したが、その後の政変により日本への亡命を余儀無くされた。

20世紀に入るとさらに「女権」が盛んに論じられるようになった。辛亥革命の結果、清王朝が崩壊すると、1912年に が成立し、同国政府は臨時約法を制定して国民主権を謳ったが、女性の参政権は認められなかった。その後も女性自身⁽⁵⁾の社会進出が進むなかで、儒教的な家族制度の改革の議論は絶えること無く、女性の権利の問題は中華人民 国が成立した後も中心的な課題であり続けた。

問1 近代の市民革命の時代においても、ただちに女性の権利が男性と等しく認められたわけではなかった。フランス革命のさなかに「人権宣言」に女性の権利が書かれていないことを指摘し、「女性は、自由なものとして生まれ、かつ、権利において男性と平等なものとして存在する」との条文を含む宣言を発表した劇作家を答えなさい。

問2 この時代には、和親のため近隣諸国の君主に公主(皇女)を嫁がせる「和蕃公主」が多く見られた。代表的な「和蕃公主」である唐の文成公主を妻としたことで知られる、吐蕃の建国者の名を答えなさい。

問3 7～8世紀の東アジアでは、日本の推古天皇をはじめ女性君主が相次いで登場した。7世紀中盤に二人の女王を出し、のちに三国を統一した朝鮮半島の国家の名を答えなさい。

問4 立憲君主制の樹立を目指したこの国政改革は、当時の宮廷の中心人物であった女性の手によって阻まれ百日余りで失敗した。この人物の名を答えなさい。

問5 次の国名のなかから、女性参政権の実現がもっとも遅かった国を一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|--------------|----------|---------|
| (あ) アメリカ合衆国 | (い) オランダ | (う) スイス |
| (え) 日本 | (お) トルコ | |
| (か) ニュージーランド | (き) ロシア | |

Ⅱ 世界の国々の「国境」の成り立ちについて述べた次の文章を読んで、文中の空欄

□ A □ ・ □ B □ にあてはまる最も適切な数字を記入し、下線部(1)～(5)に対応する問1～5に答えなさい。なお、人名で「何世」とつく場合はかならずつけること。(例「ジョージ7世」)

「国境」とは、国家が空間的に自らの主権を主張し、国家間の主権を区別する境界線を意味する。その形成過程は、人類の営みと自然環境との相互作用、諸勢力の対立と均衡、経済的動機、民族や文化の変容など、様々な要因が複雑に絡み合い展開してきた。

現在のヨーロッパ諸国の国家を形作る境界に目を向けると、近世以降の主権国家体制の確立に法的な裏付けを与えたのは、□ A □ 年に成立したウェストファリア条約であったとされる。この体制の下、国家間の勢力バランスの変化は各地で対立を生じさせたが、⁽¹⁾フランス革命後の国家間秩序の再構築を目指して □ B □ 年9月に始まったウィーン会議の基本原則のように、旧来の慣習や秩序の回復に向けた動きもあらわれた。⁽²⁾その後の二度の世界大戦とそれに続く領土再編に関わる合意や条約もまた、⁽³⁾新たな国際秩序の構築とともに、国境の再画定を引き起こした。

一方、現在のアジアやアフリカ諸国の国家を形作る境界には、主に19世紀後半から20世紀半ばにかけて繰り広げられた、欧米列強による植民地主義的な拡張、地域紛争、そして脱植民地化と冷戦構造の形成といった複雑なプロセスを経て画定されたものもみられる。こうした境界は、しばしば現地の社会的・文化的結合を無視し、⁽⁴⁾列強の戦略的・経済的利害に基づき人為的に設定されたものや大戦後の国際的な取り決めによって形成されたものであり、複数の国際条約や協定が関与している。植民地主義がもたらした領土の獲得と喪失、そして民族自決の原則と冷戦構造⁽⁵⁾が、独立国家の領域と分断線を決定づける主要な要因となった。

こうした「国境」をめぐる歴史的事象は、単なる地理的境界の定めを超え、地域の歴史、文化、そして政治的アイデンティティの形成に深く関与してきた。

- 問1 (a) 18世紀初頭のスペイン王位の継承権をめぐる戦争について述べた次の文 y と z の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。

y 「スペイン継承戦争」と呼ばれたこの戦争は、スペイン王女を妃にもつフランスのルイ14世による対外政策に反発し、オーストリアがイギリス・オランダ・プロイセンなどと結んで引き起こした戦いであった。

z 1701年に始まり1714年までに終結したこの戦争の結果、イギリスはスペイン・フランスからジブラルタル半島やニューカレドニア島など多数の海外領土を獲得し、国力を大きく伸ばした。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (あ) y — 正 | z — 正 | (い) y — 正 | z — 誤 |
| (う) y — 誤 | z — 正 | (え) y — 誤 | z — 誤 |

- (b) 1713年に締結された、(a)の戦争に関する講和条約の名称を答えなさい。
- (c) 18世紀初頭のバルト海の覇権をめぐる戦争について述べた次の文 y と z の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。

y 「北方戦争」と呼ばれたこの戦争は、バルト海の支配権を有していたスウェーデン・デンマーク同盟に対して、ロシア・ポーランド同盟が挑んだ戦いであった。

z 1700年に始まり1721年に終結したこの戦争の結果、新たにバルト海沿岸に領土を得たロシアが覇権を握るとともに、ヨーロッパにおける政治的地位を高めた。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (あ) y — 正 | z — 正 | (い) y — 正 | z — 誤 |
| (う) y — 誤 | z — 正 | (え) y — 誤 | z — 誤 |

- 問2 (a) この会議の最終議定書にあらわれた二つの原則のうち、革命前の旧体制への復帰を目指す「正統主義」を提唱したフランスの外務大臣の名前を答えなさい。
- (b) この会議の最終議定書では、有力国の利益を考慮した領土の調整も盛り込まれた。調整の結果、オランダからイギリスへと領有権が移譲されたアフリカ南端の地域に位置する植民地の名前を答えなさい。
- 問3 (a) 第一次世界大戦勃発の直接の契機となるサライエヴォ事件がおきた当時、サライエヴォを統治していた国王の名前を答えなさい。
- (b) 第一次世界大戦後の国際関係を規定した講和条約の内容に関する説明のうち誤っているものを、下の(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。
- (あ) ヴェルサイユ条約はドイツと連合国の間で結ばれ、アルザス・ロレーヌがフランスへ割譲された。
- (い) サン＝ジェルマン条約はオーストリアと連合国の間で結ばれ、南チロル・トリエステがイタリアへ割譲された。
- (う) セーヴル条約はオスマン帝国と連合国の間で結ばれ、イラク・パレスチナ・シリア全域とアラビア半島が放棄された。
- (え) ヌイイ条約はルーマニアと連合国の間で結ばれ、ブルガリアから大戦中に奪った領土が返還された。
- (c) 第二次世界大戦開戦以前、ナチス＝ドイツとの戦争回避に向けたイギリス・フランスによる宥和政策として、当時のチェコスロヴァキアとドイツ・ポーランドとの国境に接する一帯はドイツによる併合が認められた。この国境地帯は何と呼ばれていたか。
- (d) ナチス＝ドイツによるポーランド侵攻に端を発したヨーロッパ内の戦争とその経過に関する説明のうち誤っているものを、下の(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (あ) ソ連は、ポーランド支配領域のロシア系住民保護を名目にポーランドへ侵攻。ドイツとともにポーランドを分割，東部を占領した。
- (い) ソ連は、領土交換交渉がもつれたことからフィンランドと開戦。イギリス・フランスはフィンランドを支援し，1940年には領土交換も割譲もない休戦協定が成立した。
- (う) ソ連は，エストニア・ラトヴィア・リトアニアのバルト三国を占領。1940年にはいずれもソ連邦を構成する共和国になり，支配下におかれた。
- (え) イタリアはドイツの優勢をみて1940年にイギリス・フランスへ宣戦布告。北アフリカやバルカン半島へ侵攻し，一時的に勢力を拡張したが侵攻は失敗に終わった。

問4 (a) 19世紀後半以降，日本とロシアの間には国境の画定を目指す動きが見られ，いくつかの条約が結ばれた。樺太については，日本が北緯50度以南を領有することを定めた条約の名前を答えなさい。

(b) エジプトは緯線・経線に沿った直線的な国境を特徴とするが，これはエジプトを実質的に保護国としていたイギリス統治下で画定された。エジプトがイギリスの保護下に置かれるきっかけとなった民族運動の指導者の名前を答えなさい。

問5 (a) 1917年にレーニンが起草し，第2回全ロシア=ソヴィエト会議が採択した布告は，「無併合・無償金・民族自決」の原則にもとづく第一次世界大戦の即時講和を訴えた。この布告の名前を答えなさい。

(b) (a)には秘密条約の破棄や秘密外交の否定など，各国の帝国主義的な政策への批判も含まれていた。これに対抗し，1918年に民族自決の原則を第一次世界大戦の講和原則の一つとする「十四カ条」を発表した，第28代アメリカ大統領の名前を答えなさい。

Ⅲ 戦時下における美術品の保護について述べた次の文章を読んで、下線部(1)～(10)に対応する問1～10に答えなさい。

戦争という状況下では、往々にして美術品は焼失、紛失、破壊、あるいは略奪の対象となることがある。人間の歴史を代弁する貴重な文化財はいかにして守られたのだろうか。

第二次世界大戦中、ルーブル美術館の名宝をナチス＝ドイツの手から守るため、館長のジャック＝ジョジャールは巧妙に作戦を立てた。ドイツの侵攻が避けられない状況を悟ると、美術品を疎開させる計画を始動、ルーブル美術館の100名の職員を動員して「モナ＝リザ」や「サモトラケのニケ」を含む国宝級の美術品に暗号コード(1)_____(2)_____.をつけて、地方の城や美術館へ密かに運び出した。

1940年6月、フランス政府はパリに対してハーグ条約に基づく無防備都市を宣言した。これによってパリは戦火を免れた。ペタン新内閣によって独仏休戦条約が締結(3)_____.されると、フランスは南部に国家として存続するかわりに、北部はドイツに占領され、パリにはドイツ軍が駐屯した。ドイツの将校ヴォルフ＝メッテルニヒ伯爵が、芸術品の管理のためジョジャールのもとを訪れた。ヒトラーは総統の称号を冠した美術館をオーストリア(4)_____.に作る計画を持っていた。そのため、占領地の美術品を組織的に略奪する部隊が作られ、メッテルニヒもその一員だった。二人は敵同士ではあったが、美術品を守るという使命感でつながっていく。ボン大学で教授をつとめたメッテルニヒはナチ党員ではなかった。ジョジャールから作品の疎開先の目録を受け取ると、メッテルニヒはドイツ軍の芸術作品保護局が定めた文書を厳格に適用して美術品の移動を禁じ、ドイツに送ることはしなかった。

ユダヤ人の財産が容赦なく没収され、多くの美術品は、ジュ＝ド＝ボーム美術館に保管された。ジョジャールは黙認せざるをえなかった。同美術館の学芸員助手だったローズ＝ヴァランは雑務係としてうまく美術館にとどまり(ドイツ語も理解できた)、ジョジャールの指令で美術品の流れを密かに記録した。それでもナチスの美的センスに基づいて、保管に値しないとされた多くのモダンアートの絵画が切り裂かれ、燃やされた。その中には、ピカソ、パウル＝クレー、マックス＝エルンスト、フェルナン＝レジェ(5)_____.の作品があった。

疎開先の村では美術館の職員たちが飢えに苦しみながらも美術品を守った。「モナ＝リザ」が保管されていた建物が火事になった際は、村人が総出で消火に当たった。自分たちが守った絵が「モナ＝リザ」であるとも知らずに。

ヴァランが書き留めていたメモが連合軍に提供され、戦後、数多くの美術品を取り戻すことができた。「聖マグダラのマリア像」はドイツの空軍司令官だったゲーリングの家から、「ヘントの祭壇画」は岩塩の採掘場で発見された。コレクションをそれぞれの美術館へ戻すのに4年の歳月を要した。ジョジャールはレジスタンス勲章を受章し、芸術文化局長に任命された。

ジョジャールを助けたメッテルニヒには、ジョジャールの提言で、ド＝ゴール将軍からレジオンドヌール勲章が贈られた。後に二人は再会し美術品を守り抜いたかつての盟友を称えあった。

1959年、ジョジャールは文化省の事務局長に任命された。文化省の大臣は、かつてカンボジアの寺院から美術品を盗み執行猶予の判決を受けたことのある人物である⁽⁸⁾、国の至宝を守ったジョジャールが元窃盗犯の大臣に仕えるという皮肉な関係だった。ジョジャールは事業すべてを慎重に計画したが、1966年、突如解任され、翌年にこの世を去った。

一方連合国でも、ナチスによって重要な美術品や文化財が破壊される前に奪還するための特殊部隊を編成した。13ヶ国の男女で構成されたメンバーは、美術館の館長、学芸員、美術史学者、彫刻家、建築家など、美術に精通した専門家たちで、記念建造物(Monuments)、美術品(Fine Arts)、公文書(Archives)の頭文字をとり、MFAA部隊と呼ばれた。当初は歴史的な建造物を爆撃から守ることが目的であったが、後にはナチスによって略奪された絵画や美術品を奪還することが重要な任務となった。彼らは1944～45年までに、ヨーロッパの岩塩鉱山、教会、その他の場所に隠された数千点の美術品を回収した。しかし当時は彼らの存在や功績は公にされることはなかった。

日本降伏後の1945年9月、MFAA部隊は、東京にも部門を設立することを進言、それを受けてGHQの民間情報教育局に芸術記念碑部門が設立された。また、1950年⁽⁹⁾に朝鮮戦争が勃発すると、MFAA部隊員らは現地の文化財を保護すべく出動を提言したが、⁽¹⁰⁾該当部署がなかったため拒否されたという。

- 問1 この絵の作者は、ルネサンス期を代表する芸術家であり科学者であった。この人物の名前を答えなさい。
- 問2 この彫刻は、アレクサンドロス大王の東方遠征からプトレマイオス朝エジプトの滅亡までの約300年間に作られたものの一つとされている。「ミロのヴィーナス」なども作られたこの時代を何時代と呼ぶか答えなさい。
- 問3 この人物を首班とした政権が中部フランスに成立したことで、第三共和政は崩壊した。ナチス=ドイツに協力的だったこの政権がその地名をとって何と呼ばれているか答えなさい。
- 問4 オーストリアがドイツに併合された年を西暦で答えなさい。
- 問5 1937年、スペイン北部バスク地方の小都市が、ドイツ、イタリアによる無差別爆撃を受けた。この人物は、ファシズムへの抗議をこめて描いた絵画の題名にこの小都市の名前をつけた。その絵画の題名を答えなさい。
- 問6 この人物は1959年にフランス大統領に就任すると「フランスの栄光」をかげ、独自外交を展開した。この政権期の1962年に、フランスからの独立を承認された国はどこか、答えなさい。
- 問7 ド=ゴール政権で文化省の大臣をつとめたこの人物は、国際義勇軍に参加した経験をもとに『希望』を著した作家で、第二次世界大戦中は対独レジスタンスに参加した。この人物の名前を答えなさい。
- 問8 1975年にこの国で成立した政権は、都市住民の農村への強制移住、通貨の廃止、反対者の大量虐殺などを行った。この政権を何と呼ぶか答えなさい。

問9 この時期, GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の最高司令官だった人物の
名前を答えなさい。

問10 この戦争の休戦協定が成立した会談が行われた場所はどこか答えなさい。

Ⅳ 「レオ」という名を名乗った教皇について述べた次の文章を読んで、文中の空欄

～ にあてはまる最も適切な文を下の選択肢(あ)～(か)から一つ選び、記号で答えなさい。

2025年に新しいローマ教皇が選出され、レオ14世と名乗ることになった。これまで最後に「レオ」という名を名乗ったレオ13世は、1878年から1903年まで教皇の地位にあった。当時の労働者の窮状に心を痛め1891年には「レールム＝ノヴァールム」という回勅を発し「産業と商業とが一部の人々に掌握されて、少数の富者の独占物となり、その結果、無数のプロレタリアは、ほとんど奴隷的なくびきを強制されるようになったのである」と述べて、社会改革を訴えた。新しい教皇は、レオ13世のこのような姿勢に共感を示したのかもしれない。また のもこの教皇であった。

ほかにも「レオ」という名を名乗った教皇は、何度も歴史に名を残している。初めて「レオ」を名乗ったレオ1世は、451年のカルケドン公会議において、 。795年に教皇の座についたレオ3世は、800年にサン＝ピエトロ大聖堂において、 。次に歴史に大きな足跡を残したのは、レオ9世である。レオ9世は、クリュニー修道院出身者らを登用し、 。その考えは後にグレゴリウス7世に引き継がれることになる。次に「レオ」を称したレオ10世は、 。これまでの13代にわたる「レオ」の名は、必ずしも栄光に包まれたものばかりではなさそうである。

選択肢

- (あ) 神の子イエスにおいては神性と人性とが融合して一つであるとする「単性論」を異端として退けた
- (い) 贖宥状の販売を認め、これを批判するルターによる宗教改革を招いた
- (う) 聖職売買や聖職者妻帯を禁止するなどの教会改革に着手した
- (え) ドイツ国家統合のためにビスマルクがカトリック教会を攻撃したときに、これとの調停を図った
- (お) ビザンツ皇帝からの救援要請に応え、イスラーム教徒から聖地イエルサレムを奪回するために、十字軍の派遣を訴えた
- (か) フランク王カールにローマ皇帝の冠を授け、ローマ帝国の復興を図った